

「スタートかながわ」活動報告

小田原城北工高

免許更新、映像で解説

小田原警察署で再生

社会

小田原城北工業高校の生徒が運転免許証の更新手続きなどを説明した映像を制作し、9月下旬から小田原警察署1階のモニターで再生されている。同署では免許証更新の予約制度導入や「マイナ免許証」の運用開始など、大きく変わった制度の周知に役立たい考えだ。



制作した映像を披露する山口さん（左）と宮根さん

小田原署は、県の交通教育推進運動「スタートかながわ」で今年度のモデル校に指定されている同校に免許証の更新手続きなどの周知に向けた協力を依頼。署の1階ロビーに設置されたモニターで、生徒が作成した映像を流すことにした。

窓口写真交え分かりやすく

制作に取り組んだのは、同校の交通安全推進委員会で委員長を務める宮根氏綱さん（電気科3年）と副委員長の山口絢大さん（同）。2人とも免許証を取得しておらず警察署に来庁することもほとんどなかったことから、免許証窓口の見学や予約制度などに関する説明を受けたり、インターネットで情報収集してイメージを膨らませた。

映像では、県警が今年8月から開始した免許証更新の予約制度や、「マイナ免許証」について解説。小田原署で撮影した写真を交えながら、更新手続きなどを順序立てて伝えることにこだわったという。運転に不安がある高齢ドライバー向けの「安全運転相談ダイヤル（#8080）」周知に向け、同校美術部員が描いたチョークアートの制作風景も盛り込んだ。

引用元：タウンニュース

URL：<https://x.gd/sFRIR>

生徒発表

足柄高等学校

テーマ「交通安全とヘルメットの重要性」

交通安全とヘルメットの重要性

死亡事故の主な原因と致死率の差→ヘルメットの効果
 法の改正とその背景
 着用率の推移と今後の課題
 正しく着用,購入するポイント

頭部を守る唯一の方法はヘルメット着用(まとめ)

交通安全とヘルメットの重要性

死亡事故の主な原因

頭部損傷

交通安全とヘルメットの重要性

自転車事故死者のうち半数以上が頭部損傷で致命傷

頭部損傷の割合が多い年齢層は...?
 中高生、高齢者も同様の割合
 ⇒ "子供が着用するもの" ではない

交通安全とヘルメットの重要性

ヘルメット着用有無の致死率比較

2.4倍

交通安全とヘルメットの重要性

自転車事故 死者総数

1996人

ヘルメット非着用 95%

自転車使用の用途

- 66.8% 通学
- 10.1% 遊びに行くとき
- 7.2% アルバイトに行くとき
- その他 買い物・趣味・習い事に行くとき など

※473人の回答

交通事故に遭いそうになった・あった時の状況

- 74.5% 自転車に乗っている
- 16.7% 歩いている
- その他: 自転車に乗っていない、オートバイに乗っている、車に乗っている、公共交通機関を利用している、ない、乗らない、あった事がない

※192人の回答

→全体の7割は自転車に乗っているときに交通事故に遭いそうになったり、遭っている

自転車に乗るときヘルメットを被っ

- 93.8% かぶっている
- 6.2% かぶっていない

9割以上の生徒が、被っていないと回答

※501人の回答

ヘルメットを着用しない理由

- 20.8% 努力義務だから(罰則がないから)
- 20.3% 荷物になるから
- 18% みんな被っていないから
- 16.1% 髪型が崩れるから
- その他: 値段が高いから、デザインが悪いから

※472人の回答

足柄高校生 自転車使用状況

- 60.4% 3~7日使用している人は全体の6割を占める
- 31.1% 毎日
- 33.9% 0日
- その他: 1~2日, 3~4日, 5~6日

※563人の回答



自転車用ヘルメットを選ぶ
→自転車用ヘルメットでないという意味がありません

防火用ヘルメット 工事用ヘルメット 野球用ヘルメット

正しい自転車用のヘルメットの選び方
自分の頭にあったサイズを選ぶ（頭の形も参考に）

アジアフィット ヨーロッパフィット

自転車用ヘルメット置き場も必要か!?

自転車乗るならヘルメット！
楽しく安全運転！

大井高等学校

テーマ「学校周辺の危険な道路」

①開成駅までの道

河川敷側の歩道から開成駅側に渡る横断歩道がなく、車が来ていないことを確認して横断するしかないが、この道は飛ばして走る車が多いため、危険だと感じました。



②河川敷に降りる坂道

足柄紫水大橋から大井高校側の河川敷に降りる坂道は、幅員が狭いにもかかわらず、自転車が通る他、バイクも通行するので、場合によっては接触する可能性もあと感じました。



③大井高校の正門前

大井高校の正門前では、車で登校して来た生徒が乗り降りする他、自転車通学の生徒が横断したり、学校内から教員が来るまで出てくることもあり、歩いている生徒もいるので、事故が起きてもおかしくないと感じました。



④県道714号線から栢山駅までの道

この道は通行量が多い割に道幅が狭く、登下校の時間は危険を感じる瞬間が多いのではないかと考えた。



⑤河川敷から下りた後の道

河川敷から下りた後、十字路がいくつかあり、万一車が飛ばしてきたら危険だと感じました。



⑥河川敷からの下り坂

河川敷から栢山駅に向かう下り坂が非常に急で、自転車に乗ったまま下ったりしたら事故を起こしてしまいそうで注意して通行しないと行けないと感じた。



神奈川県立大井高等学校 校規委員会

学校周辺の危険な道路



まとめ

普段多くの生徒が登下校のルートとして使用している道路には、多くの危険が潜んでいる。今回紹介した箇所に限らず周りを常に意識しながら、どうすれば安全かを考えながら通行することが重要と言える。

これからの季節は日が暮れるのがとても早く、街灯が少なく、見通しの悪い道路も多くなる。なので、より一層注意深く通行するように、生徒に呼びかけていきたい。

交通安全大会

2年 石井 奏丞 森 貴也 1年 永森 耀
神奈川県立小田原高校

小田原高校は自転車通学が出来ない！！

が

家から駅まで自転車を
使う人は一定数いる！

だから自転車の正しい乗り方を
周知する
必要がある！

登校手段は徒歩だけ！それでも危険はある！！
だからこそ危険箇所を再点検して
周知する必要がある！！

☆登校ルートの危ない点リスト☆

Vol.1 小田原駅～交差点

- ・時間帯によるが人で詰まりすぎる
- ・レンタカーのお店があるのでレンタカーの出入りあり
- ・稀に自転車も来る

☆登校ルートの危ない点リスト☆

Vol.2 交差点（城山中学校校入口）
※ルート内唯一の交差点

- ・信号が切り替わるのが遅い
- ・交通量が多い！

☆登校ルートの危ない点リスト☆

Vol.3 交差点～百段坂

- ・百段坂までの道も坂道、、、
- ・グリーンベルトが狭い！
- ・車も比較的良好く通る

☆登校ルートの危ない点リスト☆

Vol.4 百段坂

- ・実際は131段
- ・坂と言ってるのに実際は階段
- ・階段の幅がバラバラ

☆登校ルートの危ない点リスト☆

Vol.EX 雨の日

- ・百段坂が滝になり

滑りやすい！！

- ・雨水が道に噴き出してくる



他校より自転車による
事故のリスクは少ない！！

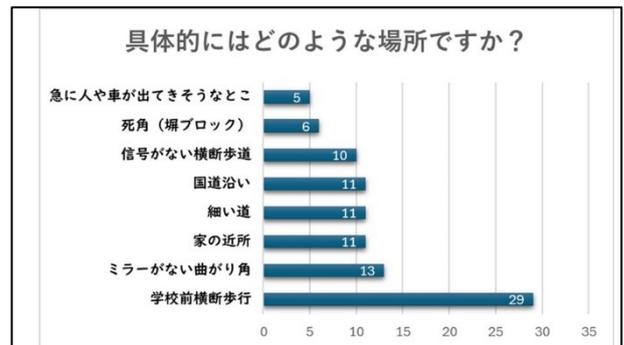
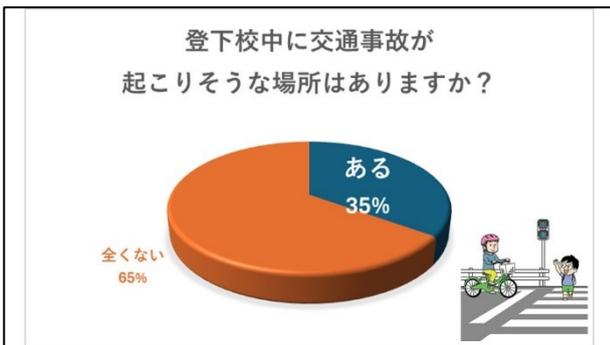
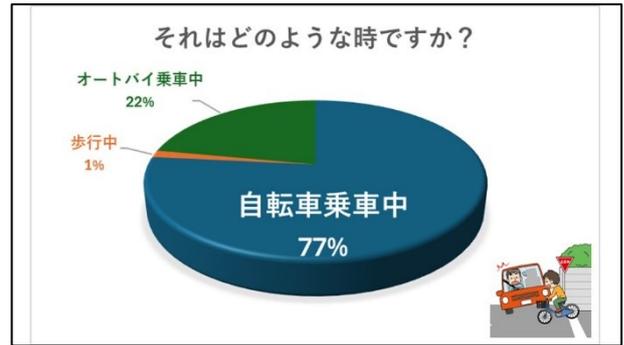
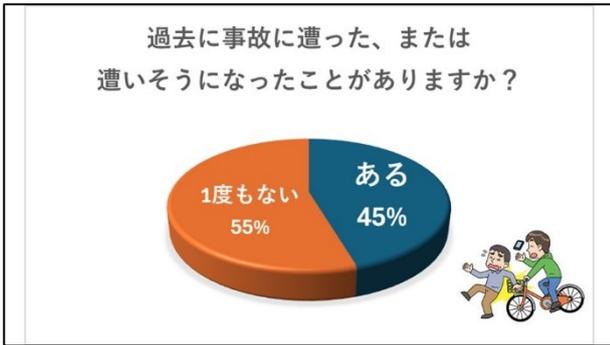
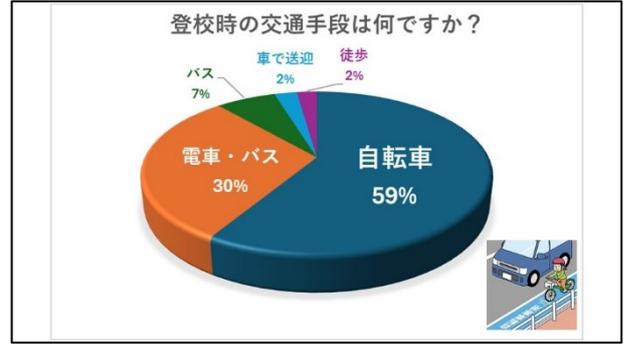
それでも危険な箇所は多い！

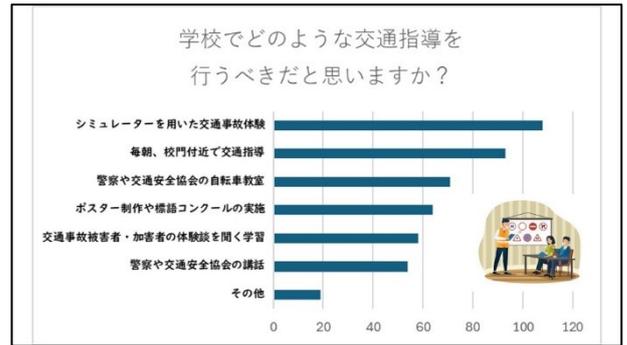
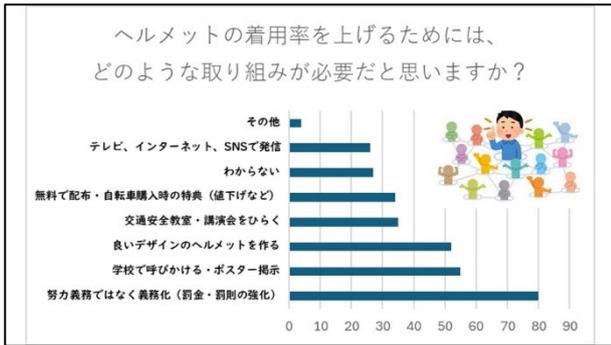
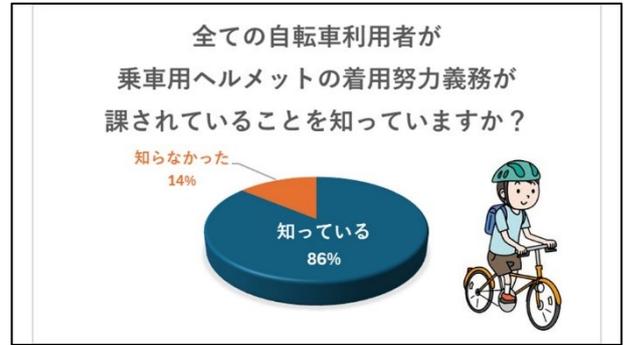
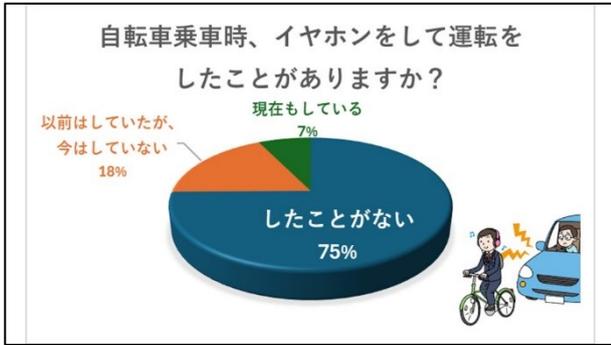
危険

Fin

Thank you for listening!!

小田原高校 生徒会本部





自転車通学時のヘルメット着用の取組

神奈川県立西湘高等学校 交通安全委員会

1. 学校の概要

- 生徒数 各学年8クラス
全校生徒数 937名
- 最寄り駅 JR東海道線 鴨宮駅 徒歩8分
- 出身中学校 小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡
で約7割を占める
- 卒業生の進路状況 4年制大学、短期大学、専門学校を含めて
ほぼ全員が進学
- 部活動 運動部、文化部含め、関東大会・全国大会
に出場するほど盛んである

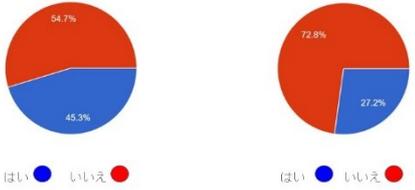
2. 朝の登校風景



3. ヘルメット着用調査①

令和7年4月にヘルメット着用調査を実施 (706人/940人 回答率75%)

通学に自転車を利用している (最寄り駅までの利用も含む) ヘルメットを着用している



はい ● いいえ ●

4. ヘルメットを着用率を上げるには

ヘルメット着用調査から

- 通学（学校または最寄り駅まで）に自転車を使っている生徒は全体の45.3%
- ヘルメットを着用している生徒は27.2%

そこで、交通安全委員会でヘルメット着用率を上げるためにはどうしたらよいかを考えてみた

5. 生徒会と連携したヘルメット着用声掛け運動

ChatGPT（生成AI）より『生徒が主体となってキャンペーンを行うと、仲間同士の影響力が働きやすい』

➡ 月1回の職員による登校指導（3日間）に合わせて、交通安全委員会が、生徒会と連携して声掛け運動（ヘルメット着用）を実施しました

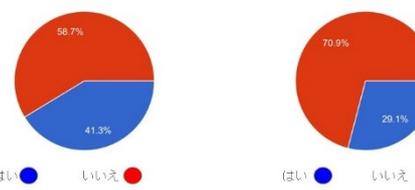
6. 声掛け運動の実施風景



7. ヘルメット着用調査②

令和7年9月にヘルメット着用調査を実施 (706人/940人 回答率75%)

通学に自転車を利用している (最寄り駅までの利用も含む) ヘルメットを着用している



はい ● いいえ ●

8. 成果と今後の課題

●**成果**
交通安全委員会が、生徒会と連携して声掛け運動を実施したことで、ヘルメットの着用率が27.2%→29.1%へと、着用率が上がった

●**課題**
着用率をさらに上げるために、ヘルメットを持ってくるハードルを下げたり、交通安全委員会と生徒会が協力して交通安全に関する資料作成や説明会などをもうけたり、HRで着用を呼びかけるなどをして、ヘルメット着用の重要性をみんなに周知して着用率を上げていきたいと思う

自転車の乗り方について

山北高校 2年 松岡 笑愛 まつおか えな
2年 湯川 杏奈 ゆかわ あんな

危険な運転の例 🚨

- ・ 並んで走る
- ・ 傘をさして運転
- ・ スマホ操作、イヤホン使用



点検の大切さ ⚙️ 🔧

- ・ 乗る前にブレーキ、タイヤ、ライトをチェック
- ・ 空気圧やチェーンも確認
- ・ 異常があれば**修理**する



正しい乗り方 🚲

- ・ サドルの高さを調節
- ・ **両手**でハンドルを握る
- ・ 周りを見てから走る



走行中のルール ⚠️

- ・ 左側通行を守る
- ・ 信号、一時停止を守る
- ・ スマホ、イヤホンは**禁止**



ヘルメット着用 📵

- ・ 転倒時に頭を守る
- ・ あごひも**締める**
- ・ サイズのあったものを選ぶ



まとめ

- ・ 自転車も車の仲間
- ・ 点検、ルール、マナーを守る
- ・ 安全な乗り方で自分と周りを守る



ご清聴ありがとうございました

P T A活動報告

県立足柄高等学校

(1) スケアードストレイトの体験授業

(昨年 11 月実施、来年度実施予定)

本校生は自転車通学者が多いことから、プロのスタントマンによる事故状況の再現を見て自分の今後の運転に生かしてもらうことを目的として実施。

生徒も「こんな風になったらさすがにまずい」と、真剣な眼差しで見学していました。

一昨年度の実施経費は、県からの予算が取れなかったため、P T Aの予算で実施しましたが、昨年度は県からの予算で実施することができました。今後は隔年実施の予定です。



見通しの悪い交差点での飛び出し事故
(自動車と自転車の出会い頭の事故)



交差点でのトラックによる書き込み事故
(自転車がトラックの内輪差で巻き込まれる)

(2) 定期試験中の下校指導実施報告(1・2学期 期末試験の際に実施)

定期試験の放課後に実施(約 1 時間) ※
今年度は 2 学期末のみ実施。



図①

参加者 P T A 役員 20 名ほど
実施内容 本校正門付近での声掛け指導



図②

目的 上記危険個所の正門前は、一旦停止がなかなか守られずスピードを出して道路に飛び出す生徒も見受けられる(図①)。事故を予防するため、一時停止と左右確認をするよう声掛けをする。

結果 ・自転車利用の生徒には、スピード・飛び出し注意の声掛けを行った(図②)。ほとんどの生徒は速度を落として、左右を十分確認した。
・徒歩の生徒には挨拶を行った。多くの生徒が P T A からの挨拶に応えてくれた。

(3) 自転車点検(5月初旬)

P T A 総会(平日午後開催)の午前中に、P T A から専門業者に依頼して自転車置き場に停めてある生徒の自転車の空気圧、タイヤの劣化、ライトの状態などを点検し点検結果表を貼り付けました。

大井高校 P T A の交通安全に関する取り組み

大井高校 P T A では生徒が安全に登下校できるよう、自転車通学の生徒には自転車点検を行い、全生徒には昨年よりセーフティーカードの配付を行なっています。

自転車点検

(令和7年6月9日実施)

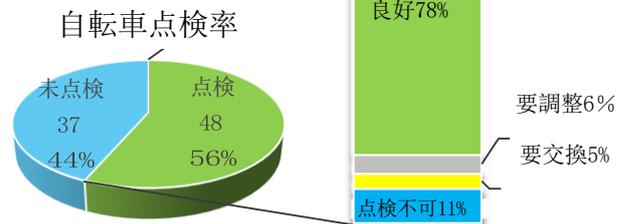
① 自転車の利用状況

生徒数 197 名。自転車登録台数 85 台 (利用率 43%)
自転車点検時の台数は 48 台。

点検評価内訳

② 14 項目の点検状態の合算数値

良好の項目	525 件
要調整の項目	75 件
要交換の項目	32 件
点検不可の項目	40 件



※ 点検不可項目とは、施錠により点検できない項目。

③ 防犯登録・施錠状況

点検時の防犯登録台数 42 台 (88%)。施錠台数 31 台 (65%)。

④ 自転車点検結果

全体的に良好ではあるが、タイヤの空気調整不足の自転車が一定数あったので、今後も周知していきたいです。

セーフティーカードの配付

※形式：名刺サイズ三つ折り サイズ：横 91mm × 縦 55mm

セーフティーカードとは、万が一事故に逢ってしまった時の対応や、自転車の整備箇所や交通ルール等の記載がしてあるもので、携行できるよう名刺サイズにしており、昨年より配付を始めました。

今年度は保護者等にも認知してもらおうべく、面談時にお便りと共に配付しました。

表紙

表紙を左側に開くと

裏表紙

さらに右側を開くと

小田原高等学校

安全対策委員会の交通安全の取り組みについて

安全対策委員会は、小田原高校PTAの常置委員会の一つで、小田高生が、安全に安心して学校生活を送れるようバックアップすることを目的に活動しています。活動の中心は、地震などの災害に備えた防災用品の整備で、毎年備品の点検を行いながら、学校と協力して必要な購入品の検討や、校内での情報の共有などを行っています。

交通安全については、例年、交通事故時の対応のための情報を記載したセーフティーカードを生徒に配布しているほか、近年では歩きスマホについての啓発活動を行いました。現在は、通学時の安全確保のための活動を計画しています。

◎セーフティーカードの配布

小田原高校では、自転車による登校は認められていませんが、これまでのPTAの調査で、通学時に最寄駅まで自転車を利用する生徒が40%、また通学時に事故につながる危険を感じたことがある生徒も37%いるという結果があります。

SAFETY CARD
—もし 事故にあったら!!—

県立小田原高校 0465-23-1201

ケガをしていなくても相手の方に名前、住所、連絡先等を書いてもらいましょう

神奈川県小田原高校PTA

〈事故の記録〉

日時： 月 日 時 分
場所： _____
事故の状況 _____

※必ず学校に連絡を!!
大丈夫と思っても、病院で診察を受けましょう。

〈事故対策の手順〉

- ① 相手の車のナンバーをメモする
- ② 相手の名前・連絡先等を書いてもらう (相手の記録)
- ③ 警察を呼ぶ (どこからかけても110番)
- ④ ケガの状況によって救急車を呼ぶ (119番)
- ⑤ 大丈夫と思っても必ず病院で診察 (レントゲン等) を受ける
- ⑥ 保護者および学校に連絡をする
- ⑦ 事故の状況をメモする (可能なとき)

〈相手の記録〉

氏 名： _____
住 所： _____
電 話： _____
携 帯 電 話： _____
車のナンバー： _____
免許証の番号： _____

二つに折ると55×86mm大と携行しやすいセーフティーカード

このため、万が一事故に遭ってしまった時に慌てずに対応できるよう、セーフティーカードを作成し、毎年、年度初めに全校生徒に、お便りとともに配布しています。

併せて自転車点検・整備時のチェック項目のほか、自転車条例や自転車損害賠償責任保険への加入義務についても記載しています。小田原高校では自転車損害賠償責任についてPTA賠償責任保険に全生徒が加入しています。

◎通学路点検

小田原高校では、ほとんどの生徒が小田原駅を利用し、駅から学校までの通学路を利用しています。平地にある小田原駅から丘の上の校舎まで続く、通称百段坂と呼ばれる道です。※小田原高校では、生徒の安全面に配慮し、学校までの自転車通学は禁止となっています。

登下校時には大勢の学生が狭い道を埋めて歩くので周辺の交通への配慮も必要ですが、途中、息を切らせて上がる長い階段もあり、周囲への注意も散漫になりがちです。また、以前の調査で多くの生徒が歩きスマホをしている実態があり、安全対策委員会では、道中の注意が必要な個所や整備が必要な場所がないか、点検活動を行うこととしています。



小田原城北工業高等学校

城北工業高校 PTA 生活指導委員会の取り組み

PTA 生活指導委員会は毎年6月と9月の2回、生徒の下校時に主な通学路を定点として下校状況調査を実施しています。

本校は小田急線栢山駅から徒歩7分という好立地に位置しますが、足柄平野を並行して走る大雄山線や御殿場線からは横の連絡がなく、直接自転車通学の方が時短となるため自転車通学者（自転車+鉄道利用を含む）が全学年で約半数に上ると聞いています。



放課後のチャイムに合わせて4か所のチェックポイントに生活指導委員会のメンバーが散らばり、生徒の下校マナーや交通安全意識を調査した結果は下表のようになりました。

調査場所		日付	歩きスマホ	歩きイヤフォン	自転車スマホ	自転車イヤフォン	自転車ノーヘル	ヘルメット着用	気付いたこと
正門	第1回	6月26日	38	10		1	54	2	二人乗り
	第2回	9月25日	25	16	1	3	58	2	二人乗り、ピアス
酒匂川 土手入口	第1回	6月26日				3	18	2	自転車並走
	第2回	9月25日			1	2	8	3	
小田百貨店前	第1回	6月26日	25	11		1	10	2	二人乗り
	第2回	9月25日	1	10			14	1	二人乗り
栢山駅前	第1回	6月26日	22	10		2			広がって歩く
	第2回	9月25日	10	10					二人乗り、食べ歩き、駅前飲食、自転車で飲食
		合計	121	67	2	12	162	12	
			歩きスマホ	歩きイヤフォン	自転車スマホ	自転車イヤフォン	自転車ノーヘル	ヘルメット着用	

例年のことですが栢山駅までの徒歩通学者の「歩きスマホ」をチェックされる数が非常に多いようです。

自転車についてはヘルメットの着用の有無を調べました。2年前の法改正で自転車乗車時のヘルメット着用は努力義務とされていますが、ご家庭での安全意識の高まりか、ヘルメットを着用しています。



通学する生徒さんの数が少し増えたような気がし。

一方、昨年の11月から罰則が強化された自転車の「ながらスマホ」は日ごろの街頭での取り締まりを体験しているのか？減ってきているようです。

「イヤフォンをつけて運転」する生徒さんも12件チェックされています。外の音が聞こえない状態での運転は交通事故に直結するため注意を喚起したいです。

最後に下校マナーについて委員さんの目に留まった件を表に記しました。栢山駅までの下校路を自転車の二人乗りで通り過ぎる生徒や道路に大きく膨らんで歩いたり食べ歩きをする生徒が数件見受けられました。

地域に愛される高校として、家庭や学校でマナー向上と交通安全意識の啓発を呼び掛けていきたいと思います。



小田原東高等学校 PTA の交通安全に関する取り組み

例年行っている生徒の通学方法実地調査から、約3分の1の生徒が自転車を利用し学校まで自転車で通学しています。また、学校前には信号機があり、国道沿いに面していることもあり、自転車通学者の交通マナーや自転車整備が課題として挙げられています。こうした、自転車通学者の現状を踏まえ小田原東高等学校では、例年、6月と9～10月、年に2回自転車点検を実施しています。今年度の6月の点検の結果を以下に示します。(今年度10月1日は雨天での実施で、点検台数は3割程度でした。)

実施方法は、PTA 役員と自転車業者に来校していただき、自転車置き場に駐輪してある自転車を対象に点検しています。その結果を見ると、要整備件数はチェーン(42件)が一番多く、その次にベル(31件)、ブレーキ(17件)と続きます。チェーン、ブレーキともに自転車を稼働させるための部品となります。大きな事故につながりかねませんので、点検票を生徒へ配布し、注意喚起と自転車整備を呼びかけています。

学校前の信号
国道沿いで交通量が多く非常に危険!



【自転車点検】(2025.6.18 実施)

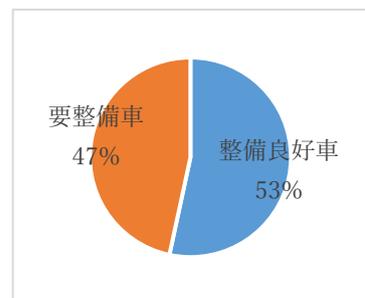
1. 自転車の利用状況

生徒数 474 人
徒歩・自転車利用 236 人

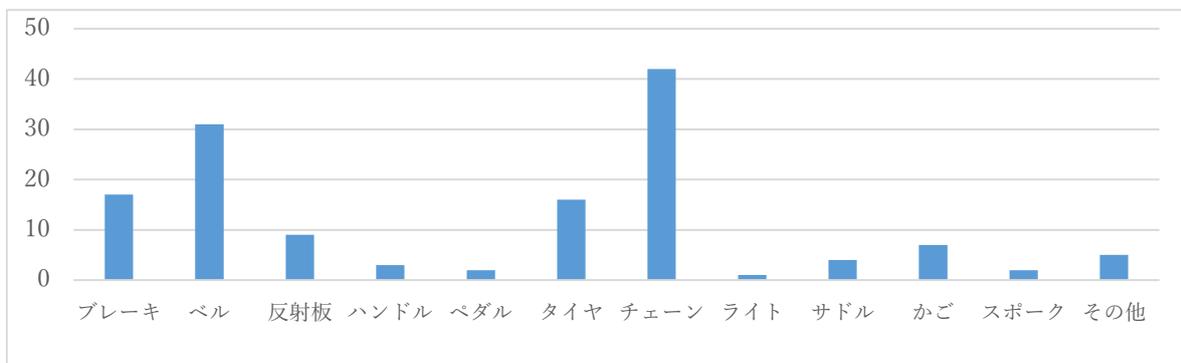
2. 点検台数 208 台

整備良好車 111 台
要整備車 97 台

半数程度の自転車が軽度の整備不良を含め、改善が必要だとい
うことが明らかになりました。



3. 自転車点検結果 (整備不良箇所)



西湘高等学校

PTA 厚生委員会 交通安全の取り組みについて

西湘高校では交通安全の取り組みとして

- ①毎月3日間の教職員による登下校指導
→駅・学校間の徒歩通学者を含めた交通ルールの再確認、
- ②自転車通学者に西湘ステッカーの貼付義務付け
→有事の際の身元確認として利用、また西湘高校生としての自覚をもつ意識づけ
- ③PTA厚生委員会による年1回の自転車点検
→整備不良等を確認し事故防止へ(年度初めの試験日、登校者の多い日程を選択)

上記3点を実施しています。

西湘高校は電車通学者が約8割、自転車通学者は自宅から最寄り駅までの利用者を含めると2割強にのぼると思われます。近年自転車事故は急増し、学生たちも被害者加害者となる可能性が高まっており、交通安全の取り組みが重要であると考えています。

特に自転車点検は、神奈川県自転車商協同組合小田原支部の整備士に依頼し「黄色い安全点検カード」に所見を記入して自転車に取り付けています。これにより生徒や保護者が不良箇所を把握できるようにしています。現在、整備不良車の修理は実施していないため、その後の修理は個人対応となり改善されているか不明な点は今後検討が必要と考えています。保護者には、PTA だよりや学校配信等で自転車点検の実施や整備可能な店舗の紹介などを行っています。また最寄り駅までの自転車利用者含め、全校生徒に向け交通安全の呼びかけとして伝えていくことも検討したいと考えています。



点検作業

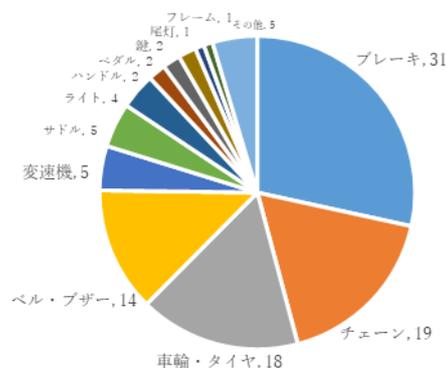


安全点検カード



カード取り付け

円グラフは今年度の点検結果です。総点検台数188台(良好車112台、要整備車76台)タイヤ空気不足が20台ありました。生徒の昇降口に空気入れを常備しているの、周知を呼びかける必要があります。また、整備が必要な項目の上位に、ブレーキ、チェーン、タイヤと走行に関係する箇所が多く、点検と修理の必要性を強く感じました。



項目別要整備台数

山北高等学校

県西地区交通安全大会 PTA 報告書

★実施された活動

○5月19日(月)7:45～8:30「PTA交通安全見守り活動」

PTA 成人教育委員会による、登校時の交通安全見守り活動を実施した。活動場所は山北高校の最寄り駅である御殿場線の東山北駅のホーム、生徒が徒歩で利用する駅から学校までの2つのルート、自転車で通学する生徒が利用する学校周辺のT字路や横断歩道とした。各ポイントにPTA 委員が配置され、登校の様子を見守る活動を行った。

御殿場線の運行は1時間に1～2本と少なく、登校時に400名程の生徒が利用する8時9分着の電車からの降車時、ホームは大変混雑していた。駅のホームは長く、ホームから2方向で道路へ降りることができるよう整備さ



れており、改札も2か所に設置されている。しかし、全生徒がホームから撤収するまでに4～5分かかっていた。各改札には自動改札機が1台しか設置されておらず、生徒たちに押し合うような様子は見受けられなかったが、渋滞となっていた。



雨天時にあの渋滞の中、傘を差した状態を想像すると危険を感じた。

駅から学校へ向かうルートは2つあり、1つは住宅街を通るルートである。こちらを利用する生徒は少数であったが、もう一方の広い道路を通るルートを利用した方が良いと感じた。生徒同士の会話は、生徒にとっては普通の話し声であっても、近隣住民の方にとっては、「朝からうるさい」という印象をもたらすこともあると考える。生徒が注意を受けた際のトラブルが心配である。



★今後、実施予定の活動

○2月3日(火) マラソンコースの監督サポート

体育の授業の一環として実施される校内マラソン大会において、職員と共にコースを巡回する。全1,2学年生徒、総勢400人程が参加し、コースは8キロに及ぶため、安全確保のサポートをPTA 成人教育委員が担っている。マラソン大会はコース監督に多くの人員を要する学校行事であることを理解し、できる限り学校側の要請に応じることができるよう、委員に動員をかける。

吉田島高等学校

PTAの交通安全に関する活動報告

活動状況について

交通安全の活動については現在検討課題となっており、特に項目立てた交通安全運動は実施していない。特別な交通安全運動にとらわれることなく、学校行事やPTAの活動行事に併せる形で、できるだけ生徒との距離を縮めて触れ合える位置で活動するようにし、生徒たちの行動や気持ちが把握できるように心がけている。

交通安全運動の予備的調査として、登下校の通学路において安全点検をしています。通学路は基本的に狭い箇所が多く、鉄道や河川を横断する必要があり、地図上での危険箇所チェックをしている。また、スマホを利用しながらの運転・歩行に対する防止を呼びかけを挨拶運動などを通じて実施をしている。

登下校の通学路の危険チェックと挨拶運動を通じた安全の呼びかけについて報告します。



挨拶運動と呼びかけの様子



通学路の危険箇所

今後の活動に向けた課題について

今後、注意喚起の方法、安全対策や交通マナーをしっかりと守れるような仕組みづくりについて、通学時の登校指導を含めて検討していく必要がある。登校時における危険箇所での見守りなども検討材料であろう。

まずは、自転車登校に対して自転車の安全点検を通じた活動を目指して検討している。